

ニホン製VtoHeim 停電時に備える『車両放電下限値』設定 使い方ガイド

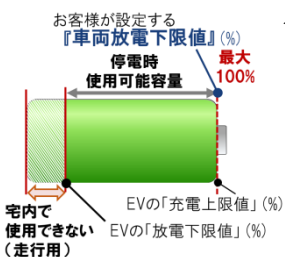
台風や計画停電などの停電に備える場合、リモコンの『車両放電下限値』を変更しましょう

リモコンの『車両放電下限値』
設定範囲:10%毎、10%~100%

台風、計画停電などの停電に、あらかじめ備えるとき

設定 停電時に備えて貯える電気が最大となるよう、リモコンの『車両放電下限値』を、**最大(100%)**に設定
(停電にあらかじめ備えるときは、前日までに切替えてください)

■一晩の停電でも、下記のような家電が使用できます



<停電時に使える家電の目安> (同時使用可能)

LED照明 (10W) 15時間 x3部屋 [450Wh]	テレビ (150W) 15時間 [2250Wh] ルータ・TVプー・スター等 (10W) 15時間 [150Wh]	湯沸かし器 (900W) 0.2時間 [180Wh]
冷蔵庫 (70W) 15時間 [1050Wh]	携帯電話 (2台10W) 1時間 [10Wh]	炊飯器 (1200W) 炊飯1回 [180Wh]

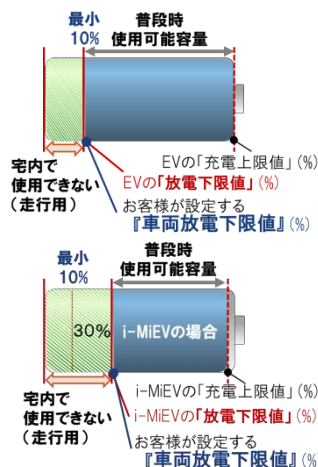
※実際の使用環境・機器等によって、電力の使用可能時間が異なります。
※停電時は、事前に計画されたスイッチ、コンセントのみ電気が使えます。
※快適エアリー、IH等200V家電は使用できません。

※使用可能容量はEV車種により異なります (表1を参照)

普段 (電気代の節約を重視するとき)

設定 普段は電気代の節約のため、EVに貯めた電気を最大限使えるよう、リモコンの『車両放電下限値』を、EVの『**放電下限値**』に合わせて設定
※表1を参照

■深夜に充電した安価な電力を、朝から夜でEVの「使用可能容量」分たっぷり使うことができます



<表1 各EVの使用可能容量>

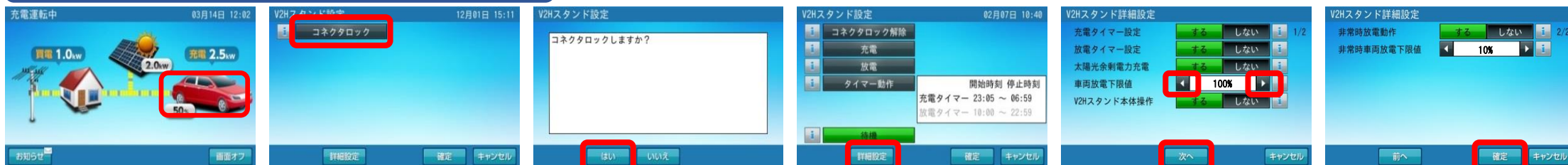
	リーフ	アウトランダー		i-MiEV	
		13年式	13年式を除く	10年式	10年式を除く
EVの充電上限値	100%	約95%	約95%	約85%	約95%
EVの放電下限値	約10%	約40%	約20%	約30%	約30%
使用可能容量	約90%	約55%	約75%	約55%	約65%

・リモコンの「車両放電下限値」とは別に、EVには車種ごとに決められた「**放電下限値**」があります。
電池残量が「**放電下限値**」以下になると、宅内への電力供給が出来なくなります。
(例：i-MiEVの場合、電池残量約30%で放電停止)

ご注意ください

- ・急な停電の時、EVの「**放電下限値**」設定の場合、EVから放電できない可能性があります。
- ・停電時に「**放電下限値**」で放電停止した場合、太陽光が発電するまで、電気は使えません。
- ・EVに貯めた電気を最大限使うためには、リモコンの『車両放電下限値』をEVの「**放電下限値**」より高い値に設定しないでください。

リモコンの『車両放電下限値』を 100% に変更する方法



- ①リモコンメイン画面の『EV』アイコンを押します
- ②「コネクタロック」ボタンを押します
- ③「はい」を押します
- ④「詳細設定」ボタンを押します
- ⑤「車両放電下限値」の「>」「<」ボタンで「100%」を選択し、「次へ」を押します
- ⑥「確定」ボタンを押します